

厚木市立小・中学校の適正規模・適正配置の取組に関する

アンケート調査 報告書

【小鮎地区(小鮎小学校・飯山小学校関係)】

令和5年3月

厚木市教育委員会

目次

第1章 調査の概要

1. 調査の目的	1
2. 調査方法	1
3. 回答率	1

第2章 アンケート回答

1. 回答者属性	
(1) 児童の保護者	3
(2) 未就学児の保護者	3
(3) 地区住民	3
2. 設問 ※()内は各設問における回答対象	
(1) 地区の子どもを取り巻く環境(児童・生徒数の減少傾向) [児童・未就学児の保護者、地区住民]	4
(2) 方針で定めている適正規模の範囲 [児童・未就学児の保護者]	4
(3) 設問(2)で「適切」「おおむね適切」と回答した理由 [児童・未就学児の保護者]	5
(4) 設問(2)で「あまり適切ではない」「適切ではない」と回答した理由 [児童・未就学児の保護者]	6
(5) 学年内でクラス替えができることの必要性 [児童・未就学児の保護者]	6
(6) 学校規模適正化の検討に当たり重視すべきこと [児童・未就学児の保護者]	7
(7) 過去1年間に市立小・中学校にどれくらいの頻度でいったか [地区住民]	8
(8) 過去1年間に市立小・中学校にどのような理由で行ったか [地区住民]	8
(9) 学校教育以外で学校が担っている役割等として重要なもの [地区住民]	9
(10) 学校規模適正化に当たり、教育環境の充実以外で考慮すべきこと [地区住民]	9
(11) 各地域に学校を維持すること [児童・未就学児の保護者、地区住民]	10
(12) 学校の適正規模・適正配置の取組への意見・提案 [児童・未就学児の保護者、地区住民]	10
① 児童等の保護者	10
② 未就学児の保護者	16
③ 地区住民	19

3. 自由記述欄 ※各設問における「その他」選択時の記載内容

(1) 設問(2)で「適切」「おおむね適切」と回答した理由 [児童・未就学児の保護者]	26
(2) 設問(2)で「あまり適切ではない」「適切ではない」と回答した理由 [児童・未就学児の保護者]	26
(3) 学校規模適正化の検討に当たり重視すべきこと [児童・未就学児の保護者]	27
(4) 過去1年間に市立小・中学校にどのような理由で行ったか [地区住民]	27
(5) 学校教育以外で学校が担っている役割等として重要なもの [地区住民]	27
(6) 学校規模適正化に当たり、教育環境の充実以外で考慮すべきこと [地区住民]	27

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

市立小・中学校の適正規模・適正配置の取組に当たり、学校の統廃合を含めた方策を検討することとしている学校(関連する学校を含む)・地区における今後の方策検討に係る基礎資料として、児童・生徒^{※1}(以下「児童等」という。)及び未就学児の保護者や地域住民の皆様の意向や意識を把握するため

※1…本アンケートでは「児童」は市立小学校に通う小学校1～6年生、「生徒」は市立中学校に通う中学校1～3年生を指します。

2. 調査方法

種別	児童の保護者	未就学児の保護者	地区住民
調査対象	小鮎小学校、飯山小学校に在籍する全ての児童の保護者	小鮎小学校、飯山小学校の通学区域に在住する全ての未就学児の保護者	小鮎地区に在住する市民(無作為抽出による 1,104人)
依頼方法	調査票を郵送		
回答方法	インターネット上のアンケートフォーム又は調査票で回答		
実施期間	令和5年1月31日～2月17日		同5年2月3日～2月20日

3. 回答率

種別	配布数	回答数	回答率
児童等の保護者	440	151	34.3%
うち小鮎小学校	(316)	(97)	(30.7%)
うち飯山小学校	(124)	(54)	(43.5%)
未就学児の保護者	251	69	27.5%
うち小鮎小学校	(188)	(52)	(27.7%)
うち飯山小学校	(63)	(17)	(27.0%)
小鮎地区住民	1,104	342	31.0%
合計	1,795	562	31.3%

※1世帯につき1アンケート調査を送付しています。複数の児童や未就学児がいる場合、調査票は最も年長のお子様の区分で集計しています。

例)1世帯に、小鮎小学校の児童と未就学児の2人がいる場合、小鮎小学校の児童として集計

【報告書の見方】

- (1) 調査結果の構成比の割合については、小数点第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記しています。したがって、数値の合計が 100.0 パーセントにならない場合があります。また、個別の設問において無回答のような無効の回答がある場合に、回答数の合計と調査対象数が一致しない場合があります。
- (2) 複数選択が可能な設問については、全ての回答数を合計すると回答者数を超える場合があります。
- (3) 本文や表の選択肢の表記について、場合により語句を簡略化しています。
- (4) 自由記述については、未記入や判読が困難なもの、明らかな誤字などを除き、原則として回答いただいた内容をそのまま記載していますが、次に該当する場合は一部内容を修正しています。
 - ① 文字数が多い場合等については全文ではなく、一部を省略したり、要旨を記載したりしています。
 - ② 個人や個別の事例などが特定される内容等は、特定されないよう修正の上で記載しています。
- (5) 調査結果における太枠・太字箇所は、設問の選択項目のうち最も回答割合が大きい項目となります。

第2章 アンケートの回答

1. 回答者属性

(1) 児童の保護者

① 児童が通学している学校

学校	全体	
	回答数	割合
小鮎小学校	97	64.2%
飯山小学校	54	35.8%
合計	151	100.0%

(2) 未就学児の保護者

① 未就学児が在住している通学区域

学校	全体	
	回答数	割合
小鮎小学校	52	75.4%
飯山小学校	17	24.6%
合計	69	100.0%

(3) 地区住民

① 年齢区分

年齢層	全体	
	回答数	割合
20歳未満	5	1.5%
20歳～29歳	20	5.8%
30歳～39歳	40	11.7%
40歳～49歳	57	16.7%
50歳～59歳	58	17.0%
60歳～69歳	79	23.1%
70歳～79歳	71	20.8%
80歳以上	12	3.5%
合計	342	100.0%

② 世帯内における児童等の有無

児童等の有無	全体	
	回答数	割合
いる	45	13.2%
いない	297	86.8%
合計	342	100.0%

2. 設問

各設問の回答対象者は次のとおりになります。

設問	回答対象		
	児童保護者	未就学児保護者	地区住民
(1) 地区の子どもを取り巻く環境(児童・生徒数の減少傾向)	○	○	○
(2) 方針で定めている適正規模の範囲	○	○	
(3) 設問(2)で「適切」「おおむね適切」と回答した理由	○	○	
(4) 設問(2)で「あまり適切ではない」「適切ではない」と回答した理由	○	○	
(5) 学年内でクラス替えができることの必要性	○	○	
(6) 学校規模適正化の検討に当たり重視すべきこと	○	○	
(7) 過去1年間に市立小・中学校にどれくらいの頻度でいったか			○
(8) 過去1年間に市立小・中学校にどのような理由で行ったか			○
(9) 学校教育以外で学校が担っている役割等として重要なもの			○
(10) 学校規模適正化に当たり、教育環境の充実以外で考慮すべきこと			○
(11) 各地域に学校を維持すること	○	○	○
(12) 学校の適正規模・適正配置の取組への意見・提案	○	○	○

(1) 地区の子どもを取り巻く環境(児童・生徒数の減少傾向)について

設問	全体		児童保護者		未就学児保護者		地区住民	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1 知っていた	280	50.3%	92	60.9%	32	46.4%	156	46.3%
2 ある程度知っていた	211	37.9%	52	34.4%	25	36.2%	134	39.8%
3 あまり知らなかった	32	5.7%	5	3.3%	6	8.7%	21	6.2%
4 知らなかった	34	6.1%	2	1.3%	6	8.7%	26	7.7%
合計	557	100.0%	151	100.0%	69	100.0%	337	100.0%

(2) 方針で定めている適正規模の範囲について

設問	保護者全体		児童保護者		未就学児保護者	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1 適切だと思う	76	34.5%	57	37.7%	19	27.5%
2 おおむね適切だと思う	123	55.9%	81	53.6%	42	60.9%
3 あまり適切ではない	16	7.3%	9	6.0%	7	10.1%
4 適切ではない	5	2.3%	4	2.6%	1	1.4%
合計	220	100.0%	151	100.0%	69	100.0%

(3) 設問(2)で「適切」「おおむね適切」と回答した理由について(3つまで選択可)

設問	保護者全体		児童保護者		未就学児保護者	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1 児童・生徒の人間関係が深まりやすい	88	17.5%	60	17.1%	28	18.4%
2 豊かな人間関係の構築や多様な集団の形成が図られやすい	74	14.7%	49	14.0%	25	16.4%
3 多様な考え方に触れる機会や学びあいの機会、切磋琢磨する機会が多くなりやすい	70	13.9%	51	14.6%	19	12.5%
4 異学年間の教育・交流活動の機会が多くなりやすい	19	3.8%	13	3.7%	6	3.9%
5 学校行事や部活動等で一人一人の発表や活躍の機会が多くなりやすい	20	4.0%	14	4.0%	6	3.9%
6 教員の目が届きやすく、きめ細かな指導を受けやすい	93	18.5%	72	20.6%	21	13.8%
7 習熟度別学習やグループ学習など多様な学習形態がとりやすい	12	2.4%	8	2.3%	4	2.6%
8 運動会や文化祭などの集団活動や学校行事に活気が生じやすい	71	14.1%	48	13.7%	23	15.1%
9 様々な種類の部活動等の設置が可能となり、選択の幅が広がりやすい	23	4.6%	12	3.4%	11	7.2%
10 ICT 機器などの授業で使用する教材や教具が一人一人に行き渡りやすい	6	1.2%	4	1.1%	2	1.3%
11 学校と保護者・地域住民が連携した教育活動を展開しやすい	2	0.4%	2	0.6%	0	0.0%
12 PTA 活動等における役割分担などで保護者の負担を分散しやすい	24	4.8%	17	4.9%	7	4.6%
13 その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	502	100.0%	350	100.0%	152	100.0%

(4) 設問(2)で「あまり適切ではない」「適切ではない」と回答した理由について(3つまで選択可)

設問	保護者全体		児童保護者		未就学児保護者	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1 全教職員による児童・生徒一人一人の把握が難しくなりやすい	11	26.8%	8	30.8%	3	20.0%
2 学校行事や部活動等で一人一人の発表や活躍の機会などが少なくなりやすい	5	12.2%	3	11.5%	2	13.3%
3 同学年の結びつきが中心となり、異学年交流の機会が少なくなりやすい	2	4.9%	2	7.7%	0	0.0%
4 特別教室や体育館、プール等の施設・設備の利用面で、一定の制約がかかりやすい	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
5 児童・生徒の人間関係や相互の評価などが固定化しやすい	6	14.6%	4	15.4%	2	13.3%
6 多様な考え方に触れる機会や学びあいの機会、切磋琢磨する機会が少なくなりやすい	4	9.8%	1	3.8%	3	20.0%
7 運動会や文化祭などの集団活動や学校行事に制約が生じやすい	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
8 習熟度別学習やグループ学習など多様な学習形態がとりにくい	5	12.2%	2	7.7%	3	20.0%
9 部活動等の設置が限定され、選択の幅が狭まりやすい	1	2.4%	1	3.8%	0	0.0%
10 PTA 活動等における保護者一人当たりの負担が大きくなりやすい	1	2.4%	1	3.8%	0	0.0%
11 その他	6	14.6%	4	15.4%	2	13.3%
合計	41	100.0%	26	100.0%	15	100.0%

(5) 学年内でのクラス替えができることの必要性について

設問	保護者全体		児童保護者		未就学児保護者	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1 必要だと思う	132	60.8%	91	61.5%	41	59.4%
2 どちらかといえば必要だと思う	61	28.1%	42	28.4%	19	27.5%
3 どちらかといえば必要ではない	17	7.8%	9	6.1%	8	11.6%
4 必要ではない	7	3.2%	6	4.1%	1	1.4%
合計	217	100.0%	148	100.0%	69	100.0%

(6) 学校規模適正化の検討に当たり重視すべきことについて(2つまで選択可)

設問	保護者全体		児童保護者		未就学児保護者	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1 長期的に一定の集団規模を維持でき、豊かな人間関係の構築や多様な集団の形成などが図られること	52	12.4%	38	13.1%	14	10.6%
2 通学に係る児童・生徒の負担が大きくなること(必要に応じて通学負担軽減の方策が図られることを含む)	178	42.3%	124	42.9%	54	40.9%
3 通学路の見直しや整備など、通学の安全性が確保されること	123	29.2%	78	27.0%	45	34.1%
4 地域コミュニティと学校との関係が維持され、連携が図られやすいこと	15	3.6%	12	4.2%	3	2.3%
5 教職員の学校運営や校務などに係る負担が軽減されること	26	6.2%	20	6.9%	6	4.5%
6 将来的な学校の在り方を見据え、学校施設の建て替え費用の削減等が図られること	9	2.1%	5	1.7%	4	3.0%
7 どれだけ小規模になっても学校の統廃合は行わず、全ての学校が維持されること	9	2.1%	8	2.8%	1	0.8%
8 学校規模適正化の方策自体を検討する必要がない	1	0.2%	1	0.3%	0	0.0%
9 その他	8	1.9%	3	1.0%	5	3.8%
合計	421	100.0%	289	100.0%	132	100.0%

(7) 過去1年間に市立小・中学校にどれくらいの頻度でいったか

設問	地区住民全体		児童等がいる		児童等はいない	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1 週1回以上	16	4.7%	6	13.3%	10	3.4%
2 月1回以上	14	4.1%	6	13.3%	8	2.7%
3 半年に1回以上	39	11.4%	22	48.9%	17	5.7%
4 年1回以上	44	12.9%	5	11.1%	39	13.2%
5 1回も行っていない	228	66.9%	6	13.3%	222	75.0%
合計	341	100.0%	45	100.0%	296	100.0%

(8) 過去1年間に市立小・中学校にどのような理由で行ったか(いくつでも選択可)

設問	地区住民全体		児童等がいる		児童等はいない	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1 子どもの見送りやお迎え(例:児童クラブなど)	34	14.5%	24	23.5%	10	7.6%
2 保護者としての活動(例:PTAなど)	21	9.0%	12	11.8%	9	6.8%
3 学校運営関係者としての活動(例:学校運営協議会など)	8	3.4%	3	2.9%	5	3.8%
4 教育活動や放課後活動などのボランティア(例:学習支援ボランティアなど)	7	3.0%	3	2.9%	4	3.0%
5 学校行事(例:運動会や発表会、授業参観など)	56	23.9%	35	34.3%	21	15.9%
6 選挙での投票	47	20.1%	8	7.8%	39	29.5%
7 災害時(大雨、台風、地震)における避難	3	1.3%	1	1.0%	2	1.5%
8 避難訓練などの防災関係活動	10	4.3%	5	4.9%	5	3.8%
9 地域(例:町内会・自治会、子ども会など)の会合・行事	14	6.0%	2	2.0%	12	9.1%
10 体育館や校庭などを利用した活動(例:スポーツ・文化活動など)	18	7.7%	4	3.9%	14	10.6%
11 業務上の関係(例:学校で働いている、学校と業務上の関わりがあるなど)	9	3.8%	1	1.0%	8	6.1%
12 その他	7	3.0%	4	3.9%	3	2.3%
合計	234	100.0%	102	100.0%	132	100.0%

(9) 学校教育以外で学校が担っている役割等として重要なものについて(2つまで選択可)

設問	地区住民全体	
	回答数	割合
1 児童・生徒の放課後の居場所・活動場所としての役割	166	26.2%
2 地域の防災の拠点としての役割	224	35.3%
3 地域コミュニティや地域のつながりに関わる活動・交流の拠点としての役割	77	12.1%
4 スポーツ・文化・生涯学習の拠点としての役割	52	8.2%
5 地域の歴史や文化の中核的な存在としての役割	14	2.2%
6 地域づくり・人づくりを進めるための地域の核としての役割	41	6.5%
7 子育て世帯等の移住や定住を促進する役割	40	6.3%
8 特にない(児童・生徒の学びの場以外の役割があると思わない)	14	2.2%
9 その他	6	0.9%
合計	634	100.0%

(10) 学校規模適正化に当たり、教育環境の充実以外で考慮すべきことについて(2つまで選択可)

設問	地区住民全体	
	回答数	割合
1 自治会や青少年健全育成会などを始めとする様々な地域コミュニティ団体と学校との連携・協力が図りやすいこと	57	9.6%
2 児童・生徒の放課後の居場所・活動場所、地域防災の拠点など、地域コミュニティの拠点としての機能が維持されること	198	33.4%
3 学校施設の維持管理や再整備に係る経費などを考慮し、適正な規模での施設更新や施設の複合化が図られること	81	13.7%
4 市都市計画における各地域のまちづくりの方針や地域づくり諸計画等との整合が図られていること	21	3.5%
5 将来的に児童・生徒数が減少する見込みであっても、地域コミュニティや地域づくりのため、地域内の全ての小・中学校が維持されること	73	12.3%
6 将来的に児童・生徒数が減少する見込みであることを踏まえつつ、地域コミュニティや地域づくりのため、地域内に小・中学校がそれぞれ1校以上維持されること	120	20.3%
7 特にない(教育環境の充実以外を考慮する必要はない)	9	1.5%
8 よくわからない	26	4.4%
9 その他	7	1.2%
合計	592	100.0%

(11) 各地域内に学校を維持することについて

設問	全体		児童保護者		未就学児保護者		地区住民	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1 維持すべき	183	32.9%	51	33.8%	20	29.4%	112	33.2%
2 できれば維持すべき	251	45.1%	66	43.7%	28	41.2%	157	46.6%
3 必ずしも維持しなくてよい	109	19.6%	32	21.2%	18	26.5%	59	17.5%
4 維持しなくてもよい	13	2.3%	2	1.3%	2	2.9%	9	2.7%
合計	556	100.0%	151	100.0%	68	100.0%	337	100.0%

(12) 学校の適正規模・適正配置の取組に対する意見・提案について

① 児童の保護者(回答数:50件)

回答区分	No	回答内容
取組の考え方・進め方・スケジュール(15件)	1	統合を前提とする政策の廃止。先生の増加、部活動の顧問の見直し、業務での補助員増加。小規模地域の世帯数が増加するための政策。
	2	今より更に小規模化が進めば、統廃合の必要もあると思う。ただ通うのは子どもたちなので、子どもたちに不安や負担がないようにしてもらいたい。急に環境が変わるのはかわいそう。小規模で問題もあるのかもしれないが、良い所もある。※通学路の整備をちゃんとしてもらいたい。現在でも草が生い茂って危ない所や看板が倒れそうな所など多数あり。定期的に子どもたちの目線になって通学路の安全を見てほしい。
	3	小規模な学校のメリットをたくさん感じて親子共々過ごしています。統合し、片方を廃校にしてしまうのではなく、大規模、小規模、希望する学校への入学が認められたらありがたいと思います。子育てに力を入れている厚木市をうたうのであれば、遠方の子どもにはスクールバス運用を実現化し、柔軟な対応、選択の幅を用意していただきたいと思います。
	4	中学で一緒になるのであれば、小学校の人数も減っているので、統合することで、子どもたちの輪も広がると考えます。働き手が減っている世の中、1校に対する教員配置を考えると、人材的にもったいないと思います。
	5	学校までの距離が遠くなると統合のメリットを感じない。できればそのままでも良い気がします。遠い児童には自転車通学を許可していただくなど配慮が必要だと思います。自転車置場の設置なども必要になると思いますが、小学校は通学区域の関係で自宅から1番近くの小学校への入学を許可してもらえませんでした。統合した場合は、自宅から近い小学校を選べるようになると良いです。(中学校は選べるようです。)
	6	困難な問題の検討をありがとうございます。地域の学校が減少することは、地域住民として寂しいというのが本音です。しかしながら、少子化や日本の中長期的な経済状況を考慮すると、勇気をもって進めていく必要があると考えます。関係者の利害を調整しながらナタをふるっていくのは心労も多く大変だと思いますが、各論の反対に屈せず、全体最適な視点で改革を進めていっていただければと切に願います。

取組の考 え方・進め 方・スケジ ュール (15件)	7	地方には更に少人数化が進んでいる所が多数あります。そのような中でどうやって学習を進め、地域ぐるみで人間形成支援を行っているのか、ベンチマークもしていただきながら小鮎地区での最良の方法を選択していただければと思います。
	8	問6について、小鮎地区内の通学区域の見直しは必要だと思います。千頭地区は清水小とも距離は変わらないし道1本隔てて清水小と飯山小で分かれてしまうのなら、選択できるように考慮すべきではないでしょうか。また、上飯山地区の子どもたちは、飯山小へ通うのですら遠いです。雨の強い日、夏場、雪の日は保護者が送迎しているのが現状です。現小学校ですら保護者の負担があるのですから、再編成の際は、通学バス導入は必至だと考えます。
	9	時代の流れや予算の観点から再編成はやむを得ないと思います。ただし、飯山小学校の広い校舎や教室の窓から見える自然と景観により、市街地や都心では得ることができない健やかで広い心を養っていることも確かだと思います。適切なご検討をお願い致します。
	10	小鮎小学校と飯山小学校を統合するのは絶対やめてほしい。飯山小学校の子が小鮎小学校に通うとなると、通学時間や距離が遠すぎるし、大きな坂を登らなくてはいけないので、低学年の体力では負担が大き過ぎる。朝は特に車やバイクがスピードを上げて沢山通る道なので、子どもたちが歩く幅が狭く歩道がないのでとても危ない。歩道を作っても危険な道路、死角になる場所があり、朝以外の時間は人通り少なく変質者の心配もある。スクールバスを運行することになれば子どもたちの運動能力の低下が懸念される。バスの事故も心配。心配事が多すぎて親も子どもも安心して学校に行くことが出来なくなる。1番は大人の都合で子どもたちに負担を課してしまうことは避けてほしい。子どもたちのための学校なのだから、児童が1人になるまで飯山小学校は残してほしい。うちは飯山小学校が少人数な学校と知り引っ越してきた。のびのび学ぶことができるのが飯山小学校のメリットで、子どもたちは心豊かな優しい人間に育っているのは間違いない。大人の都合で統合してほしくない。
	11	経年が比較的浅い方に統合して、空いた場所の設備を活用できると思います。都市部にはない部分(広さ)など、メリットをいかせば、郊外の学校としての特色も出て、アイデンティティにも結びつくかと。
	12	そもそも昔、なぜ小鮎小と飯山小に分けたのかという話にもなりますね。現時点の与条件だけ考えると、一番合理的なのは、小鮎小と飯山小をまず統合、校舎は飯山小を暫定使用。小鮎小の跡地を有効活用し小鮎中の新校舎を新設、現校舎部分を新グラウンドに。小鮎中の現グラウンド部分に新小学校を新設、移転。こんな所でしょうか。場合によっては小中一貫校化も検討可能ですし、また飯山小暫定使用ではなく完全移転もアリだと思います。また、小鮎中を飯山小に移転、飯山小は小鮎小へ統合しつつ中学校敷地も使って新校舎に建替えであればどちらの場所も学校として維持できますね。
	13	古くなった校舎は解体し、統廃合でバリアフリー化の改修を望む。多様性を重んじ、障がいやケガで車椅子が必要になっても通学できるようにする。かなりの頻度で骨折により松葉杖を使用している生徒・児童がいるので各校に車椅子を備品として整備したり、スロープ、エレベーターを設置したりする。現場の教員は余裕がないので統廃合で1クラスの人員を減らす、担任2人体制にするなど、校舎、人員を有効に活用するよう望む。現状、新採用を担任に充てるなど無理がある。小学校は担任が殆どの教科を担当しているので休むと、他のクラスの担任が面倒を見るのは負担になる。担任1人で抱え込まないように副担任が必要。

取組の考 え方・進め 方・スケジ ュール (15件)	14	入学時と卒業時に学校が変わり、取り巻く環境や人間関係が大きく変化してしまうと、不安を感じてしまう子どもはいると思う。予算や職員の視点ではなく、子ども視点での統廃合に向けての具体的な取組を示してほしい。不登校児を増加させるようなことにはしてほしい。
	15	遠方の生徒が通いやすいようスクールバス等の配置、兄弟で別々の学校への通学にならないようにしてほしい。全て統合先の学校の運営の仕方にするのではなく、廃合校の良い点は、引き継いでほしい。
教育環境 (5件)	16	小中一貫校はとても良いと思います。小学校から中学校に変わる際の子どもの精神的ストレスが緩和されると思います。
	17	少人数学級の実現は教育の質を向上させるために、また長い目で見たときの人材確保のためにも優先順位を上げて取り組んでもらいたい課題です。令和7年度、人材確保の問題は大きいと思われませんが、保護者の一人として期待をしています。
	18	これから小鮎地区だけでなく児童数が少人数化することがわかりました。難しい問題です。中学校の部活動については隣の学校と合同で一つの部活動を作り、平日は学校ごとに練習し、土曜日は合同練習をすとか他校との交流も良いと思います。小学校から他校と月1回交流する日があれば多様な考え方に触れる機会はあるようです。
	19	適正規模・適正配置は、校舎を、学びやすい設備が整った学びの環境に建て替えてから行うべきだと思います。魅力的な学校づくりには、学習環境の整備も欠かせないかと思います。ex)温水が出る手洗い場、清掃しやすい床や廊下、明るさが確保された教室や校舎(特別教室)など、子どもたちが過ごしやすい学校に
	20	公立の学校は、子ども自身が徒歩で通える所にあるのが望ましい。校舎を縮小した建て替えを行ない、無駄な維持管理費をなくするのが最優先。小規模なりの良さをもっといかし、存続を前提として、新しい未来の学校として、生まれ変わってほしい。厚木から発信してもよいのではないか
通学関係 (21件)	21	人数が増えることはとても良いことだと考えていますが、現状、飯山小へ通う1年生の中には遠くて行きたくないという泣いてしまう子がいると聞きました。仮に小鮎小学校へ統合となると、小鮎小学校への道のりもかなり遠く、とても危険な箇所が多数あります。それとともに参観など保護者が学校へ行く時など小さい子連れで歩いて行くのは簡単なことではありません。小鮎小学校のグラウンドも広くはないです(運動会問題など含め)、統合するには駐車場の確保も必要かと思えます。ちなみに、飯山小学校教室から見える景色ご覧になったことありますか。凄く素敵な景色です。もったいないという気持ちもあります。いろいろな意見があり大変だとは思いますが、子どもたちがのびのびと良い環境で学校生活を送れるのが1番だと考えております。どうぞ宜しくお願い致します。
	22	学校までが遠い。

通学関係 (21件)	23 昨今児童や生徒が通学時に痛ましい事故や事件に遭うことがあるので地域のボランティアで信号の無い交差点に見守りの方がいる地域もありますが、年々地域のボランティアの方の年齢も高齢化してきている中での自論ですが、シルバー人材センター等の公益社団法人との連携で過疎化の広がる地域に派遣する予算をつけることは難しいのでしょうか。少子化の中、地域に見守りの方が居なくなれば都市部に移住し、更に郊外は過疎化をたどるような気がします。人口密集地ではない場所だからこそ、地域社会が子どもと一緒に育てていく必要があるのではないかと思います。
	24 統廃合について、通学路の安全面で、夏場の時期、近年の気温上昇を踏まえ、通学時間の短縮も含め考えていただき(スクールバスなど)、学校に通いやすく、授業等に集中して取り組める環境を作っていただければと思います。教職員数の減少により、校務負担に関しては、教育関係の有資格者(幼保の有資格者等)などのパートタイム労働者を多く集め、教材準備などの校務分担を積極的に取り入れる必要があると思います。
	25 万一、学校が統廃合された場合、通学に掛かる距離が伸びることで負担が増えることと、安全面に不安が高まることが心配。
	26 適正規模・適正配置に賛成です。取組に伴い以下要望です。 ・子どもの安全な通学が維持されること →通学路では道路が狭く歩道がないところや、往来にスピードを出す車が多いところなど、安全性を改善してほしい(歩道をつくる、街灯をつける) ・保護者の負担が増えないこと →保護者も就労している家庭がほとんどなので、保護者の送迎が必要になったり旗振りの場所が増えたりすることのないようにしてほしい
	27 親の願いとしては、子どもが安全に通学できて、学校生活でも安全第一で、心豊かに勉強に取り組める環境を望みます。
	28 今、宮の里から飯山小まで通っていますが、坂ばかりで、夏は日陰が全然無く、心配しています。適正化されて小鮎小になったら歩かせられません。自分も中学は小鮎でしたが、小学生からの徒歩は危険過ぎます。交通量は多いし、川沿いは落ちる可能性がありますので、毎日個々で送り迎えをするのも無理ですし、スクールバスが運行されない限り考えられません。
	29 統廃合するのは構いませんが、児童の歩く距離が長くなることが一番心配です。距離が伸びてしまうなら、安全に登下校できるよう工夫が必要だと思います。
	30 小学校統合に当たり、通学路の安全の確保、車の送迎も想定した通路、ロータリー等の確保も検討してほしい。
	31 統廃合により、通学がかなり長距離(遠距離)となってしまう場合、通学バスの導入等も合わせてご検討いただきたい。
	32 児童の減少が著しい地域であるほど、学区が大きく、現状でも通学が困難な所が多いので、学区がより大きくなった場合、特に低学年では通学が難しいと思います。毎日、親がそれをバックアップするのは厳しいので、その点をしっかり検討していただきたいです。
	33 通学に掛かる時間や距離が長くなることで負担増加や安全の確保が心配です。スクールバスなど、必要に応じた方策がなされることを前提に進めてほしいと思います。子どものみならず、人自体が少なくなっている地区には厚木市全体で人を増やしていく支援がされていくことを願っています。(調整区域の見直しや家を建てる条件の緩和など)

通学関係 (21件)	34	通学バスを出せば良いと思います
	35	児童数減少による統廃合は賛成ですが、その場合の学区拡大に対して、児童の登下校の負担だけでなく、保護者の登校時の負担が大きいと、学校に行くことに気が進まなくなってしまうと思います。現在住んでいる場所だと、統合されるであろう学校までバスは通っていないし、学校所有の広い駐車場也没有。コミュニティバスを通すようにしたり、近くに駐車場を確保してほしいです。また、学校まで一定以上の距離に住んでいる家庭に対して優先的に車を停められるようにしてほしいです。あと、安全な通学路の完備、住宅が少ない道への防犯カメラの設置、駆け込みポイントをいくつか作る(トイレが借りられるとなお良い)などしてほしいです。順々に配備していくのではなく、これらが完備できた後に統廃合してほしいです。民家がなかったり、駆け込みポイントになる場所がしばらくない道には、高速道路にある電話のように、受話器を持つだけで学校につながる電話があると良いと思います。そういった設備の設置が難しいなら、民家のない通学路には先生、地域(警察含む)、保護者の登下校の見守りの強化をしてほしいです。
	36	学校まで距離があり、交通量も多いため、スクールバスを検討してもらいたい。飯山小学校の学童を利用している児童の対応をお願いしたい。(小学校敷地内学童)。保護者も今は徒歩で学校に行くように言われているが、車を利用できるように駐車場の確保をお願いしたい。特に幼児連れで学校に向かうには不安がある。
	37	飯山小学校学区(上飯山方面)の生徒は、小鮎小学校へ統合された場合、近くの小学校は飯山小学校を除けば小鮎小学校が1番近い小学校になります。そうすると学校への徒歩通学は他の小学校と違い、通学路は狭く、上り坂が多くなり、猿などの野生動物が出現したり、変質者が出るような場所もあります。このことから上飯山方面の小学生の徒歩通学は難しいと思います。またバスも上飯山から小鮎小学校方面へはバスルート也没有。新たなバスルートを設定することは出来ないと思われますので、安全性等を考えて是非ともスクールバスを運行してほしいです。子どもたちを第一に考え、きちんと対処していただきたいと思います。
	38	統廃合により、登下校が長距離化する場合、スクールバスを出してほしい。長距離を歩かせるのは、小学生は特に危ないと思う。登校班では、危険を防げないと思う。
	39	人口密度の差異から、学級数が少ないのではないかと思います。現在の児童の人口から見ると集容オーバーになっていないので、適正な規模ではないかと思えます。ただ通学時間に個々に(1kmを超える児童)時間が掛かるので、コミュニティバスのような仕組みをつくり負担の軽減をしていただきたいと思えます。(地元のバス会社に委託をお願いして1回100円(有償)通学バスとして運用してもらおうと、遠い生徒の負担軽減になります。)
	40	統廃合により通学の負担が増えないようにスクールバスの運行などが必要だと思います。
	41	統廃合を行うのであればスクールバス等の検討も同時にしてください。

地域づくり・地域コミュニティ (5件)	42	地域ごとの小・中学校の配置は必要だと考えている。小・中学校がないことで更なる人口の減少が進んでしまうことが考えられる。現在コロナ流行に伴い働き方の多様性も進み、地方への移住者が増えている。これをチャンスと捉えて移住・定住者を増やす政策を行うべきではないか。厚木市は温泉や豊かな自然があり、魅力を感じていただける方も多いかと思いますので、厚木市の武器を最大限にいかした厚木市過疎化進行地域への移住・定住者獲得の方策を考えていただき、学校を減らす考えではなく、定住者を増やして健全な教育が行える環境を整えていただくことを強く望む。今回アンケートを実施していただいている教育総務課の方たちの仕事の範囲ではないかもしれませんが、ぜひ部門を超えた話し合いをしてください。より良い方策を打ち出していただき「厚木市っていいよね。」と他の地域に住んでいる方から羨ましがられるような都市に導いてください。応援しております。
	43	たとえ、小規模であっても、その地域に学校を残していくべきだと思います。学校が無くなれば、その地域は、ますます子どもが住まなくなり、高齢化が進み、地域としての活性化も失われる。調整区域といっても、子どもが生活しやすい環境を整えるべきだと思います。実際、荒れ果てた畑ばかりで、土地が全然、使われていません。スクールバスが運行するような環境ではないので、通うことが大変な子どもが増えると思います。子どもの数が偏らないようなまちづくりしてほしい。統廃合により、遠い地域の家庭は、様々な負担が増えると思います。子どもについては、健康面、学習能力の低下、精神面など、いろいろなことが心配です。(学校が遠いことで)
	44	小学校が廃校になった場合、地域の活性化が図れるように有効活用してほしい。道の駅などの商業施設を配置してほしい。
	45	統廃合を検討する場合、廃校になる予定の学校の今後の使い方や使い道について検討し、意見や方向性をある程度踏まえた上で、統廃合の有無を決めてほしい。
	46	統廃合によって、廃校になった学校の校舎・体育館はどうするのか。取り壊して更地にするのか。学校は指定避難場所になっているので、災害時に地域住民は行き場を失ったりしないのか。他の疑問点も多々あるので、詰めが甘く、適正規模・配置構想は、体のいい維持費削減・机上の空論にしか思えません。
その他 (4件)	47	小鮎、飯山小学校地区に子どもが少ないのであれば、対象となる地域に住む人に対しての助成金や固定資産税の減税など別の対策を講じて、人を迎える対策も考えるべきである。
	48	このような議論、検討がないように市としての少子化対策について垣根を超えて各省庁、また官民で推進すべき。また、様々な世代で互助の精神が育まれる地域社会づくりを行う強いリーダーを求めたい。
	49	低学年の時に特に思いましたが、補助の先生の数が足りなく、行き届いていないと感じています。
	50	学級数に加え、一学級当たりの児童数も重要。また、担任の能力向上が必須。不適任者が少なからず見受けられる。

② 未就学児の保護者(回答数:25 件)

回答区分	No	回答内容
取組の考え方・進め方・スケジュール (11 件)	1	少子化によって児童・生徒数が減っていることから、学校の規模を見直すのは妥当だと思います。将来的なことも踏まえてかなり規模が小さくなる学校も出てくると思うので、そうなる前に適正規模への取組をお願いします。また、学校が減ることによってその学校の職員を他の学校にまわすこともできるので多忙化解消にもつながると思います。今を見るのではなく先を見据えての改革をお願いします。
	2	教員の目が届きにくくなることも逆に感じます。現在小規模小学校に通っている子どもたちは、教員の対応の違いにギャップを感じることなく過すことができれば良いと考えます。子どもの心のサポートを第一に考えてもらえれば良いと思います
	3	中学校だけでなく、小学校も地域とは関係なく各家庭が希望する学校に通うことができれば良いと思う。
	4	中学校卒業まで新しい友達との出会いが少なく、校舎と先生が変わるだけとなると、刺激が少なく、人間関係が広がらない。心配がある。
	5	将来の子どもたちのために、市がいろいろなことを考慮して取り組んでいただいていることに感謝いたします。今の大人よりも子どもたちのことを第一に考え、これからの厚木を担っていく世代が少しでも良い環境で育っていけることを一番に期待しております。
	6	少子化は現実的な問題なので統廃合の議論は当然だと思いますが、統廃合に誘導する説明やアンケート内容には疑問が残ります。未確定とは建前で、統廃合に向けての説得が随所に感じられるのは残念です。また、人口予測等のデータについて、厚木市は少子化対策や他所から子育て世代を呼び込むことを諦めているのでしょうか。減少予測に合わせて学校を先行して減らしていく計画はあまりにも逃げ腰と感じます。学校はどの規模であろうと教育上の利点・欠点は存在すると思いますが、それぞれの規模の利点をいかし、欠点を補うカリキュラムを作成することが重要なのではないのでしょうか。ですが詰まる所はお金やまちづくりに関わることだと思うので、今後は取り繕ったデータばかりではなく、正直な所も含めて総合的にご説明していただければと思います。もし統廃合が不可避であれば、安全な通学路は確実に必要です。飯山小学区から小鮎小に至る道は非常に危険です。(見通しの悪い交差点、車の抜け道、久保橋の安全性等々)集団登校や各所に保護者配置等の安易な対策ではなく、歩道やスクールゾーンの整備、信号設置、小鮎川への転落防止を講じる必要があります。
	7	一刻も早く小学校の選択制を導入してください
	8	駅前などの人口多い地域から小規模校へ通わせて、小規模校の児童数を増やしてほしい。(駅前→各校近くへはバス会社の既存路線が運行しているため、新たにスクールバスを用意するより予算が抑えられるのではないか。)小鮎小と飯山小とを統合するならば、スクールバス兼コミュニティバスのような地域住民も使えるなど、ムダのない便利なものをつくってほしい。
	9	少子化なので統廃合するといった単純ではなく、世代間の混合学級や、IT を活用した事業の導入など、統廃合に当たっては、未来への小規模校の特色をいかした運営プランをセットでご提示いただきたい。
	10	厚木市全体としてもう一度小・中学校の区画整理をし直してから統廃合など決めるべき。クラスが多すぎる地域に学校を増やす。

<p>取組の考え方・進め方・スケジュール (11件)</p>	<p>11 適正規模について、小学校 12 学級～というのは少ないと感じました。最少というのは分かりますが、1 学年当たり 2 クラスではコミュニティが狭すぎます。大規模学校をバラすのは理解できます。小規模 or 1 学校 12～18 学級の学校は統合を進めて良いと思います。適正配置について、小鮎小と飯山小を総合する場合、飯山小に児童を集めるのには反対です。校舎の建設、更新時期はいずれ到来するものなので、飯山小が長く使用できることはあまり関係ないかと考えます。人数の多い小鮎小に統合すべきだと思います。統合した結果、通学時間・距離が長くなることに関しては、スクールバスが必要になると思います。公共交通機関では、経済的な問題や、混雑、天気などによって遅延や事故など、通学方法の違いで学校での活動にズレが生じてしまうと考えるからです。(そもそも小学 1 年生に 3～4km の距離を歩いて通学させるのは保護者から見て不安が大きいです)4 ページにある⑤の方策をさらに具体化し、統合の検討(小鮎小+飯山小→小鮎小)を進めてほしいと願っています。</p>
<p>教育環境 (1件)</p>	<p>12 統廃合と併せて、教員の数を増やして多忙化の軽減、さらには少人数学級の実現が図られることを期待します。</p>
<p>通学関係 (12件)</p>	<p>13 小鮎小学校へ通学させる場合、どのように通学させるのか。県道 60 号も車の通行量が多いので危ないと思う。</p> <p>14 小鮎地区は広いため、小さな小学低学年が徒歩で通学するとなると、現状ある小学校は2校とも必要だと思う。子どもたちへの負担が大きいです。</p> <p>15 通学距離について、同じ距離でも小学 1 年生が歩ける距離と小学 6 年生が歩ける距離は違うと思う。統合の場合、スクールバスの導入も必要だと思う。通学路について、統合をすると、街灯がない・歩道がない道も通学路になることが予想される。通学路整備も課題ではないかと思う。</p> <p>16 飯山小の児童の通学が大変にならないか心配です。集団生活の中で人間関係を学んでほしい。一定の生徒数が必要。</p> <p>17 通学の面は慎重に考えた方が良いと思います。宮の里から小鮎小学校までの道には車が多く通るので安全に登下校できる道を作っていただきたい。スクールバスも検討してみても良いかもしれません。</p> <p>18 現在の生徒の在籍数をみると、統廃合についてはやむを得ないと感じる。しかし、通学時間が長くなることや安全性を考えるとスクールバスなどを運行してもらわないと通学がままならない。地区ごとにバスの運行を設けるなどの検討はしてほしい。</p> <p>19 通学時の安全性について、保護者が理解しやすく、教職員の負担を軽減できる、市が運営・管理するコミュニティバスのような形が良いと思います。もし公共交通機関を利用するとなると、学割証の発行の手間や個人情報を含んだ書類の紛失の可能性があったり、コミュニティバスでも学校が管理するとなると、問合せが学校に来てその対応に教職員が追われるし、緊急の保護者からの連絡等がつかなくなる可能性があるため、市に問合せ・管理を一本化してほしい。</p> <p>20 統合については規模的には賛成派です。ただ登校の負担が極端に増えないよう、登校にはバスの運用などを前提に検討いただきたい。</p> <p>21 学校の統合はいいと思います。ただ、スクールバスの導入を考えてほしいです。学校までの距離だけでなく道路の起伏も考えて導入してほしいと思います。スクールバスが導入されないようなら統合については反対です。また、保護者が学校に来校しやすいよう駐車場の確保も行ってほしいです。</p>

通学関係 (12件)	22	交通機関を利用する手段を検討すべき。子どもに手厚くしてほしい。行事など楽しさをたくさん与えてほしい。
	23	例えば飯山小学校が廃校になったとしたら宮の里区域から小鮎小学校まで距離があり、交通量も多い。また、道も狭いため、せめてバスなどで小学校中学年くらいまでは送迎してほしい。
	24	学区が広くなることにより生じる通学距離の長さに対してはスクールバス等での対応を行うこと。学校給食は可能な限り自校方式を継続していくこと。小中一貫教育も視野に検討していくこと。
地域づくり・ 地域コミュニ ティ (1件)	25	距離における学区の自由化は防災、防犯の観点からも早めにご対応いただきたく思います。ご検討宜しく願いいたします。

③ 地区住民(回答数:70件)

回答区分	No	回答内容
取組の考え方・進め方・スケジュール (26件)	1	現在、高等学校の教員をしております。学年1クラス規模だと、人間関係の育成にあまり良くないと感じます。高校でも小規模校からの入学者は人間関係づくりに苦労しているところがあります。
	2	できるだけ地域の中心に統合すべきである。スクールバスなどは考えず通学路の安全に重きを置くように検討すべき。
	3	単級の場合、児童数が少なくさびしい感じがする。2クラス以上あった方が学習面・体育面・諸行事でも活力が出てくると思う。職員も単学級だと負担が大きいと思われる。飯山小・小鮎小は(上飯山はちょっと別だが)それほど離れていないので統合もやむを得ないのではないのでしょうか。もともと小鮎小学区であったのでよいと思う。
	4	生まれてから、同地域で生活してきました。統廃合により、出身校が廃校となるのは、淋しい気持ちもありますが、この先の時代、今の子どもたちが大きくなっていく中、学校を残したいという思いだけで、維持していくべきではないという思いもあります。維持していくには、お金が掛かることですので、今の子どもたちがより良く学べることと、将来的な税負担が大きくなることとの両立ができるとう良いと感じます。また、子どものいない世帯も多くなる地域や時代になってくると思いますので、学校が子どもの学ぶ場所だけでなく、もっと地域や高齢・福祉分野にも学校側から開いていけると身近になり、子どもから高齢者までの施設として、地域の中心となっていくのではないかと思います。
	5	小学校が各学年1クラス程度しか人数がないのであれば必要に応じて減らした方が子どもたちのためでもあるように思う。子ども同士のコミュニケーション能力向上など人数が少なくでは育てられないものがあると思う。
	6	今後、更に少子化が進むと見込まれるので、適正な再編成・統廃合により、効率的な学校運営が必要と思われます。ただし、地域防災の拠点の側面も重要なので、この点をどう維持するか配慮が必要と思います。
	7	財政の問題もあると思いますが、子どもたちの教育・福祉を優先に考えていただきたいと思います。子どもは国の宝です。
	8	今後の少子化を考えると、区域内の学校への通学を基本としているが、区域外の学校への通学も認めることが必要になってくるのではないだろうか。
	9	コロナ前は孫の学童のお迎えをしていましたが、その学校は児童数も多く、居住地との差を実感しました。子どもの数が減少する中、学校の維持、校舎の老朽化等考えますと、子育てしやすい街づくりを目指している市にとって、何処にどのように予算を組むかも大きな課題だと思われます。こうした現状を考えると、統廃合はやむを得ないかと考えます。ただ何処に住んでいても受ける学びの質は不公平にならないよう願っています。自然にも恵まれて、良い環境も整っていると思うので、郊外にもっと若い世帯が移住・転入しやすい施策が重要かと考えます。
	10	小・中学生一人一人に目が行き届く授業、勉強は楽しい、仲間は大切だと教えることができるクラスの人数を考えてほしい。統廃合などするのなら言ってほしいと思います。
	11	日本全国で同じような状況が起きていると思われるので、その流れを見ながら物事を判断していくことが大切だと思う。特に物事は押し付けでなく、子どもたちを中心に考え判断していく必要があると思う。

取組の考 え方・進め 方・スケジ ュール (26件)	12	学校は教育をする所。防災の拠点はあくまでも建物を利用しているだけにすぎない。(防災も重要だが)子どもたちのことを優先して考えるべきだと思う。
	13	大人自身に余裕が無くなってきている昨今、子どもたちを取り巻く環境は昔(特に昭和の時代)に比べたら、本当に厳しいものになっているように感じます。だからより一層、子どもたちの成長を第一に考え、少しでも良いと判断されたことは、前に進めさせて行くべきと思います。地域住民のほとんどのことを理解させ、多勢で努力していく必要があると思います。
	14	子どもは地域の宝。各地域には学校を維持していただきたい。
	15	ただ闇雲に「あれば良い」学校ではなく、統合することで教員の働きやすい現場、十分な定員を保持し、きめ細やかな教育を与えうる環境整備ができるのであれば、積極的に改革を進めてほしいと切望します。
	16	生徒数の減少により学校の規模や配置をしなおすことは必要だと思います。生徒さんや先生を集中させることにより多様な考え方も取り入れられますし、先生一人一人の負担が減るかもしれません。ただ、生徒さんの通学に大きな負担がかからないようにしていただくことを優先して欲しいです。
	17	今後 10～30 年の長期目線で考えると、e ラーニング等が義務教育でも普及することが予想され、教育施設としての学校の価値は低下するでしょう。しかしながら子どもたちの集団生活訓練、地域社会交流の場としての価値は相対的に大きくなるのではないのでしょうか。このことを考慮した上で規模の是正を行えば後々困ることはないでしょう。
	18	統廃合の可能性がある地域にはできるだけ早期(少なくとも5年、できれば10年以上前)に、可能性があることを共有すべき。統廃合のガイドラインについても地域住民に共有すべきであり、現状はガイドライン等の共有がなされていないと感じる。
	19	小鮎地域に新しく家が建っており、子育て世帯が増えていくのではと考えます。私が住んでいる周辺でも保育園、幼稚園に通っている子、生まれたばかりの子など、まだ小学校に通っていない子がたくさんいます。私も未就学児がいますので、小学校、中学校は維持していただきたいです。
	20	子どもが大きくなったら次の世代の子が育つまで、児童数が減るのは、どこでも一緒だと思う。厚木市に限ったことではない。小鮎小と飯山小を統合するのであれば、安全面を考えて、通学途中の子は小鮎小に集めるべきだと思う。今、放課後に校庭で遊べるのは、学童保育の子たちだけなのか？放課後に校庭で遊べるような環境ができると良いですね。やはり少子化問題があると思う。
21	減少する児童数を善用する。小学生のうちは基礎を培うための教育に集中することが大切だと思います。少ない人数の生徒ならば思い切って、複式学級でアクティブラーニングを取り入れる新しい学校にしてみてもどうでしょう(その分野の教員を臆せずに採用する)。もし成功したら、他県から厚木市で教育を受ける意義や評判につながっていくかもしれません。大人数での教育は中学校からが良いと思います。地域の児童を一つにまとめる場合、飯山・宮の里・千頭と5km以上のアップダウンの険しい通学路が体の負担になることが心配です。特に低学年の児童には辛い道のりになります。私事でございますが宮の里から飯山小学校への道は幼かった時に足腰を鍛えるには良かったのですが、大変だった思い出があります。低学年の生徒のみのスクールバスを検討してみてください。徒歩の良さもあります。県道60号線から小鮎川へ行く道は危ないです。車両との差別化を徹底してください。真摯に取り組まれている教育総務部の皆様、きっと大変なお仕事だと思います。子どものいない市民ですが応援しています。感謝します。	

取組の考 え方・進め 方・スケジ ュール (26件)	22	放課後以外にも、平日の日中なども地域コミュニティの核となる(ベース)施設という方向にし、小・中学校児童・生徒と地域住民との世代間交流の場としての活用が望ましい。学校関係者以外は、荻野運動公園並みか、それ以上のセキュリティー対策も必要かと。
	23	統廃合等の方策を検討するに当たり、飯山小学校、近隣の住民(児童、生徒も含む)に配慮すべく、飯山小学校の校舎の運用を継続することを前提に取組を進めるべきであると感じます。小鮎小学校及び小鮎中学校は立地がそれぞれ隣同士であり、この2つのみを今後残すことは、上述の住民の方々への不便を強いることになると思います。
	24	人口減少、少子化が続いている限り非常に残念ではあるが、今後とも学校の統廃校問題は避けられない課題だと思います。小鮎地区における課題として小鮎小の改築が予測されます。一方で近隣に飯山小があります、小鮎小の飯山小への統合は、小鮎小の児童数が多いことや通学距離の問題から困難と考えられる。したがって小鮎小の改築は予定どおり実施し、将来飯山小との統合を実施し1地区1校を存続すべきだと思う。
	25	将来自分の孫が通うことを考えると、やはり子どもの人数が減っても今の学校形態を維持してもらいたいと思っています。学校の配置を考えて自分自身も家を購入したこともあり、これで統合、再配置等があったらますます飯山地区から人数が減るのではないかと思う。学校の再配置等を検討するなら、その前に住みやすい街にしていって人数増加を見込めないのかと思います。
	26	飯山小学校を開校し分校したのだから、今回は生徒数減少により統廃合になったと言えば済む話。小鮎小の西棟は老朽化で既に耐久年数に達しているので解体し、校舎の新しい飯山小へ移動する方が望ましい。通学の面で考えると下古沢や上古沢、小松台、小金原などから飯山小へ通学するのは遠い。通学バス等の配置が望ましい。小金原などは緑ヶ丘小への転入もありえる。小鮎小の説明会には10人程度しか参加してないが、飯山小は危機感があり、多く参加した様子。飯山小に統合となったら小鮎小の保護者は急に大騒ぎになると思われる。一番の問題は教員の負担である。心身ともに疲弊した教員が体調を崩したり、新採用でいきなり担任させられたりと無理が多い。教員不足もあるので統廃合で現場教員の負担を減らし、質の良い教員が揃えられれば積極的に統廃合を支持する。
教育環境 (3件)	27	1クラスの児童数が少なければ、先生の日も行き届き、先生の仕事も楽になると思う。小中学一貫校はいじめの延長やなれ合いなど、良くない面がありそう。
	28	先生たちの仕事が充実するような環境をつくるべきだと思います。いじめなどの問題も多いことから、先生に余裕が無い状態はよくないと思います。ただ、学校が遠くなることで、通学時の子どもたちの危険につながることへの配慮は重視してほしいです(スクールバスなど)。
	29	教員の待遇改善が最優先。残業や部活動遠征に適正な賃金を払ってあげてほしい。小・中学校は人格形成にかなり関わるので、その大切な場で働く人の待遇が悪いのは良くない。教員の待遇はSNSなどでもよく言われるので、そこに切り込むことで市のイメージアップにもつながりやすい。
通学関係 (20件)	30	登下校の距離、徒歩で歩く
	31	飯山小の児童が小鮎小に通うようになった場合の通学距離に問題はないか。飯山小の建物の利用をどのようにするか、老人関係での利用を考えるとか。

通学関係 (20件)	32	通学の距離・時間が増えるほど、子どもたちが事故、犯罪に巻き込まれることが増えないか心配です。今のご時世なので…
	33	適正配置により、通学距離・時間が長くなるのが心配です。小学生とりわけ低学年については望ましい距離、時間であっても交通事故や防犯への配慮が必要です。
	34	我が子も飯山小に通っていましたが、学校までの通学に時間が掛かり低学年では1時間くらい掛かってしまうため、小鮎小までは低学年はとても難しいのではと思います。まして、少人数となれば子どもたちだけで歩くのは、危険があるかも。
	35	無理に地域の学校への入学を強制するのではなく、少しでも子どもたちが危険なく登下校できるよう、バス通学や自転車の利用を許していくことが良いのではないかと思う。あまりに遠い道を暗くなってから帰るのは可哀そうです。
	36	公立の小・中学校は誰もが通学できる所ではなくてはならないので、基本は子どもたちが自分の足で安全に通える距離にあるべきだと思う。やむを得ず交通機関を使う距離になるのであれば、無料のスクールバスを運営すべき。また、中学校は部活動などの放課後活動により冬季などは日が落ちてからの帰宅となるため、距離だけでなく、時間への配慮もあると安心。放課後活動後の帰宅用スクールバスなど。
	37	私自身も、大学生の子も、該当小・中学校に通学しておりました。思い出という面では、もちろん維持してほしいという希望はあります。実際、私の実家、現自宅からも小・中学校への通学の不便さ、危険さは多くあると思います。現に、中学校3年間でちかん被害は片手で足りないです。今後の子どもたちの安全面からも現行の3校の維持を希望致します。
	38	通学路の整備が必要。安全な通学路の確保が必要だと思います。駅周辺や南毛利地区は学童が多くなっているが、自由に学区を選べる制度も推進してほしい。学校の特長や強みなどをもっとPRし、マンモス校とは違う教育の在り方も教育委員会として応援すべき。いじめや、ヤングケアラーをサポートできるシステムづくりもお願いします。
	39	小さな子どもの通学が遠いのは大変だと思うがスクールバスなどがあれば安心。
	40	統廃合した場合、スクールバスの運行に賛成です。その場合、運営費用は行政が負担し、利用者(保護者含む)の費用負担が発生しないようにしてほしい。
	41	統廃合の場合、遠距離通学には、スクールバスの公的負担、又は、公共交通機関の定期代の公的負担をすべき。(児童・生徒の安全確保、少子化の歯止め)
	42	スクールバスの運行は良いことだと思う。
	43	通学の範囲が広がると、小さい子にとって負担が大きい。その対策を選択できるように複数の選択肢を用意してほしいです。小学校が遠くなることで、ますます飯山小の学区での新しい戸建建築や転入移住の人が減ってしまうと思う。
	44	私の住んでいる地域には特に影響はないが、統合によって通学環境が悪くなる児童・生徒の移動手段はしっかりと考えてあげてほしい。
	45	飯山小がなくなったら、小1の子どもが小鮎小まで歩くのは心配、スクールバスなどの検討はできないのか。
46	スクールバスを導入。治安も昔とは違うし、学校が遠くなってもスクールバスがあれば良い。	

	47	小・中学校登校に1時間掛かる現状は、大変だと感じました。また、親も同様に見守りに付き添うのも大変なこと。バス登校を認めるなどの見直しを行い、子どもが学校に通いやすい市になってもらいたいです。
	48	廃統合は必要だと思います。しかし、子どもにとって1時間の徒歩通学は体力的にも厳しい面があります。講師時代に、小鮎中に1時間以上の時間を掛けて通っていた生徒がいました。朝もサラリーマンのお父さんより早く学校に向かうと聞いています。そのような面を見て、制限を設けた上で自転車通学を検討する必要があると感じております。危険だとの反対の声を受けるかと思いますが、半年に1度講習会を学校で開催するなどの対応で充分であると思います。さらに厚木市は児童の自転車用ヘルメットの購入に対しては支援があったかと思いますが、この2点を前面に出し、ぜひ自転車通学を許可していただきたいです。私が担当していた生徒は、通学時間が長いため、塾の授業に毎回間に合わなかった過去があります。ぜひ検討してください。
	49	人数が少なくなっても通学区域が広くなり過ぎると通学の負担が増えます。地域コミュニティも利用しづらくなります。利用者の交通の便を考慮していただきたいです(通学バスだけではなく、一般の人でも利用できる小型のバスを用意する等)。地域、地区、区域の用語の違いがあいまいでした。
地域づくり・地域コミュニティ(6件)	50	子どもが少なくなり小・中学校各1校にまとめることは可能だと思うのですが、防災や地域の活動、子どもたちの通学距離等を考えると、なるべくならば現在の形を維持するのは大事だと思います(無理しすぎない範囲で)。
	51	各地域に小学校を維持すべきだと思う。小学校が無い地域は若い世代の人たちが住まなくなり、子どもたちが居なくなり、より衰退して行くと思う。児童が1人になるまで飯山小学校は残してほしい。飯山小学校と小鮎小学校を統合すると子どもたちの安全が守れない。飯山小学校の少人数1クラスというのは子どもたちにとってメリットしかない。飯山小学校には素直で穏やかな、優しい子どもたちしかいない。一度飯山小学校に行ってみると分かると思う。市教育委員会が掲げている未来を担う人づくりは、まさに飯山小学校の少人数制の教育により、子どもたちは豊かに育っていると思う。
	52	子どもたちの登下校等を考えると、極力学校は維持すべきだと思います。学校の規模縮小は進んでいくと思いますので、児童館や公民館を将来的に学校に統合するなど、空き教室等を利用しても良いかと思います。
	53	回答数の関係で選ばせんでしたが、児童・生徒の放課後の居場所、活動場所も大切な項目です。
	54	多目的な場としての活用。小学校が近くからなくなると更に若い世帯が減り、高齢者の世帯のみになってしまうのでは。
	55	これらの問題は考えなくてはならないと思うが、地域にとって学校はなくてはならない大切なものの一つで、なくなると地域も衰退しかねない。そのことを考えると地域の活性化につながる人と人との往来や、他の地域からの編入などがなく人口流出になりかねないので、人を呼ぶ魅力的なまちづくりを考えていかなくてはと思う。特に若い人の流出をとどめなくてはならないと思う。もし統合して、小中一貫校となれば、遠方から通う児童・生徒のためのスクールバスは必要になると思うし、市や学校もその方向に向けて今から整備が必要だと思う。

その他 (15件)	56	直接、学校関係に関する意見ではありませんが、生徒数の減少は人口減少が大きな要因だと思います。人口減少は、厚木市だけの問題ではありません。しかし、大和市など他の県央都市は人口増加をしています。この差は何でしょうか。駅前の再開発も必要ですが、厚木市全体として、市のあるべき姿を検討してください。このままでは、郊外の地域はどんどん人口減少が加速していきます。
	57	小・中学校に児童が定着するように市で補助金を出して他市から移住してくるよ うに人を集め、住みやすい市をアピールすることも大事(家賃の補助など)。
	58	小鮎地域の児童が減らないような対策の必要性を感じます。もう一つ、もう少し 住みやすい所、具体的には技け道などの渋滞緩和や公共交通機関の利便性の 改善などです。駅近くばかりにいろいろなものが増え、人も集まって優遇されて、 不便に感じます。
	59	児童・生徒数の減少が分かっている区域はほとんどが調整区域などの世帯数が 増えない環境下で発生していると思います。昨今では、南毛利地区などは、住 宅地が増えている印象。もう少しバランスを考えて都市開発していくべきかと思 う。
	60	市街化調整区域のため、若い世代が定住することが難しくなることは、あつては ならないと思います。畑があつても、管理をすることのできない世帯が多く、土地 の無駄だと思います。もっと住みやすい環境を整え、子どものいる世帯を住みや すくすれば、地区の児童数が少なくなることもなくなり、学校の統廃合問題も無く なると思います。使われなくなった土地は、資材置場になるだけなので、小鮎・ 飯山地区の調整区域を無くしてほしいです。住民は暮らしづらく、本当に不便で す。
	61	厚木市は税収入が多いはず。多少の負担は子どもたちのために検討すべきであ る。母校は残してほしい。子どもの負担が増える再編より、市議会の定数削減や 市職員の給与水準を検討すべき。
	62	将来的に子どもがいなくなってしまうことを想定しての方針を検討されているよう ですが、第1に子どもをいかに増やすかではないか。地域内の統廃合でも、通学 がかなり遠方からになります。その場合は、スクールバスなどが用意されるのか。 子育て支援を積極的に行って経営している企業の経営戦略を参考にして、厚木 市に本社がある企業の子育て支援を市として支援することが大事だと思われま す。積極的に女性の活用を進める企業は将来的には発展すると思う。
	63	少子化でこの問題は避けて通れない。小・中学生の子どものためという枠を越え て、地域住民の学びの場などの観点も必要だと思う。
	64	当初、少子高齢化の中で学校施設は、地域の高齢者のための意義のある活動 の場にするというように伝えられていたように思う。地域の中での成長と老いを捉 えるとても良い考えだと思っていたが、今は、年齢による細分化ばかりで、地域全 体の全体像も将来像も考えられていないように思う。施設を有効に使う方法はな いのでしょうか。
	65	ある程度小学校を統合して、登校が不便になる場合、スクールバスなどを出す 形にした方が経費は抑えられるのかなと思いました。
66	余っている教室を児童館のように使えるといい(駐車スペースのある未就学児施 設として)。スクールバス兼コミュニティバスの運行を希望。	

その他 (15件)	67	海外からの移住家庭が増える可能性が考えられます。民族や国を越えた取組を考えておくことが大切です。住民全体で他者を排除しないよう、労働者としても隣人としても受け止めていけるコミュニティを目指しましょう。そのための「学ぶ機会」や勉強会等、今からつくりましょう。以前の学校で、いじめや疎外の現場をいくつか見てきましたし、経験しています。
	68	飯山小の卒業生ですが、特に地域の行事がある訳でもなく無駄に広いと感じていました。子どもたちと地域の人が皆で農業ができるように畑にしたりと、学校内を変えられたら素晴らしいと思います。
	69	適正規模・適正配置の取組等も良いのですが、家の上の子どもたちが通っていた頃は問題行動があつたりして大変な時期があつたので、とにかく子どもたちが学校に行くのがイヤだとか言わずに楽しい学校生活が送れることを切に願いたいです。(イジメは絶対にダメ)
	70	昔から、この地域の小学校はいずれ「老人ホームになる」と言われていましたが、それは、ただの噂でしたか。

3. 自由記述欄

(1) 設問(2)で「適切」「おおむね適切」と回答した理由について [その他選択理由]

① 児童の保護者(回答数:3件)

No	回答内容
1	1学年当たり1学級でも適切だと思います。子どもたちの心の余裕や、教室や校庭を広く使えるなどのメリットは大きい
2	いじめる子とクラスが分かれることができる
3	2クラス以上あると、クラス内でトラブルがあっても、次年度で対応できる(別のクラスにするなど)

② 未就学児の保護者(回答数:0件)

《意見無し》

(2) 設問(2)で「あまり適切ではない」「適切ではない」と回答した理由について [その他選択理由]

① 児童の保護者(回答数:4件)

No	回答内容
1	1クラスが悪いとは考えていない
2	更に遠くなるので通学が心配
3	1～6学年が各1クラスでもそろっていれば、学校としての教育環境は与えられていると考えられる。12学級～が適切ということに疑問を感じる
4	先生1人で大人数では関わりが足りないと思う

② 未就学児の保護者(回答数:3件)

No	回答内容
1	学校によって生徒数が違いすぎる
2	通学させるのが危ない、小学生が歩いて行ける距離ではない、スクールバスもあまりいい気はしない(事故が多いため)。事故が起きてからでは遅いと思います
3	どの規模でも利点・欠点はある。規模自体よりその欠点を補うカリキュラムづくりの方が重要

(3) 学校規模適正化の検討に当たり重視すべきことについて [その他選択理由]

① 児童の保護者(回答数:3件)

No	回答内容
1	学区の廃止や厚木市の学校における生徒の平均にすることなどをしないこと
2	統廃合して残った学校は全てバリアフリーに改修すること。エレベーター設置、車椅子などを備品とすること
3	統廃合に向け、在籍児童の精神的な安心感を与えられる児童目線の具体的な方針が示されること

② 未就学児の保護者(回答数:5件)

No	回答内容
1	スクールバスの導入
2	保護者へのメリット
3	重視すべきは学校の選択制の導入である
4	飯山小の子どもが小鮎小に通うのは体力的に厳しいと思う
5	小・中学校の9年間で新しい友達との出会いが少ないことが心配

(4) 過去1年間に市立小・中学校にどのような理由で行ったか [その他選択理由]

① 地区住民(回答数:6件)

No	回答内容
1	部活動の大会、練習試合等の見学
2	子どもがもう大人になったので行く理由が無いです
3	就学前検診
4	登下校見守り、横断歩道での誘導及び下校時間毎に1～3回毎日行っている。
5	市立小・中学校の適正規模・適正配置に関する説明会
6	子どもではなく孫の迎え

(5) 学校教育以外で学校が担っている役割等として重要なものについて [その他選択理由]

① 地区住民(回答数:4件)

No	回答内容
1	学習の仕方を学ぶところ
2	大人になった時になつかしさにひたる
3	選択肢1～7の全ての役割だと思う
4	子供の遊べる居場所

(6) 学校規模適正化に当たり、教育環境の充実以外で考慮すべきことについて [その他選択理由]

① 地区住民(回答数:7件)

No	回答内容
1	少数の児童・生徒ならではの学校として価値のある学校教育の場として提供してほしい
2	統合し、公共交通の利用、循環バスの整備など、全ての人ができるよう整えてほしい
3	通学時間における学校の対応(何 km 以上の子どもは自転車通学可能など)

4	通学の安全性
5	統廃合に当たっては、通学の安全性の確保。通学時間を考慮
6	5～10年後の児童・生徒数の予測結果を地域にも共有し、早期に検討を行うこと
7	生徒数減少による校舎の統廃合より、現場の教員の負担軽減に着目すべき。既に心身ともに疲弊した教員が多い